

令和 8 年度第 1 回富士見市地域公共交通協議会 会議録

開催日時	令和 8 年 8 月 2 7 日（木）		開会 9 時 4 5 分 閉会 1 1 時 0 0 分
開催場所	富士見市役所 全員協議会室	出席者数	委員定数 2 4 名中 出 席 者 1 7 名
委 員	【出席】 浅井義明会長、板谷和也副会長、山本昇一委員、馬場香澄委員、大久保勇次委員、田中郁代委員、加藤和美委員、藤江賢治委員、秦野凌委員、三上秀樹委員、小池毅委員、浪江泰永委員、鳥羽隆史委員、小谷野裕委員、磯谷雅之委員、鈴木貴久委員、新井雅彦委員 【欠席】 小瀧正和委員、山科和仁委員、照井誠委員、関根肇委員、平野貴久委員、廣田通規委員、千野嵩斗委員		
関係者出席	東武バスウエスト㈱ 鈴木晴喜氏		
事務局等	【事務局】 平澤都市整備部長事務代理、横田都市計画課長、高野都市計画課副課長、本間都市計画課主任、大木都市計画課主任 【受託者（日本工営都市空間株式会社）】 小倉部長、白石チーフスペシャリスト、野々村技師		
配布資料	令和 8 年度第 1 回富士見市地域公共交通協議会 次第 富士見市地域公共交通協議会委員名簿 資料 1 アンケート調査について 資料 2 富士見市の公共交通に関するアンケート調査（1 8 歳～） 資料 3 富士見市の公共交通に関するアンケート調査（1 5 歳～1 7 歳） 資料 4 富士見市の路線バスに関するアンケート調査 資料 5 富士見市の市内循環バス「ふれあい号」に関するアンケート調査 資料 6 富士見市のデマンドタクシー（タクシー補助制度）に関するアンケート調査 資料 7 関係者ヒアリングについて 資料 8 市内公共交通の利用状況について その他 運賃改定のお知らせ ※西武バス㈱提供資料		
公開・非公開	公開（傍聴 2 名）		

会 議 事 項

1 開会 平澤都市整備部長事務代理

2 あいさつ 浅井会長

3 議事（進行：会長）

（1）アンケート調査について【協議事項】

○資料1～6に基づき、事務局から説明。

以下、質疑応答等

委 員：アンケートの種類が多岐にわたり、個々のアンケートのページ数も多いように見受けられるが、なぜアンケート調査を今実施しなければならないのか。

事務局：市ではこれまで、デマンド交通や市内公共交通に関するアンケート調査を実施したことがあるが、地域公共交通計画の作成に当たり、最新の市民の移動実態の把握や地域の実情に合った施策展開を検討する必要があるため、実施するものである。

会 長：地域公共交通計画は法定計画であり、その計画の根拠となる多角的なデータが必要であり、今まで蓄積されたデータに加え、改めて最新の市民の移動実態を把握するものである。

事務局：地域公共交通計画は周辺自治体も作成を進めている。他自治体の作成事例も参考にしながら、本市にとって持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を検討していきたい。

副会長：計画の作成に当たっては、統計的なデータに基づく現状把握が必要であるため、このアンケート調査を通じて最新の市内の公共交通の状況が把握・分析できるものと思われる。また、配布数や調査対象者も問題ないと考えており、適切な回収数が確保できれば有意義なデータとなる。懸念点は、調査票のボリュームが若干多いことであり、回答の負担からアンケートの回収率が低くなってしまうおそれがある。しかし、設問項目は十分に厳選されている印象も受けるため、このボリュームでも致し方ないと思われる。そのため、調査依頼文でアンケート調査の必要性や重要性を強調するなど、回収率の向上に向けた工夫を考えていただきたい。また、これ以上設問数を削れないにしても、回答の分岐によっては答えなくていい設問がある旨や回答数が異なる旨などを記載して、出来るだけ回答者の心理的負担の軽減にも努めていただきたい。

事務局：回収率向上に向けては、様々な手段を講じるつもりである。また、調査依頼文の中で重要な文面は太字等で強調するなど、アンケートの必要性や重要性がより伝わるような工夫を図りたい。これ以上設問数を減らすことは難

しいと考えているが、おおよその回答時間の提示など、回答者の心理的負担の軽減につながる工夫についても検討していく。

委員：無作為抽出の方法として、地域別に抽出するのか、乱数で抽出するのか。居住地によっても特性が変わると思う。

事務局：地域別と年齢別の人口割合を考慮し、抽出するつもりである。

委員：デマンドタクシーのアンケート調査について、登録者のうち実利用者はどれくらいなのか。無作為抽出の結果、利用していない方が多く抽出されてしまうことにならないか。

事務局：令和7年度末時点の登録者は6,476人、利用者は1,806人である。利用していない方の割合の方が高いので、利用している方にも行き渡るよう抽出に配慮するつもりである。

委員：アンケート調査を10月に実施する、とのことだが、10月に東武バスグループにおいて組織再編があることを踏まえ、調査票の様々な選択肢において、「東武バスウエスト」の表記のままでよいか。

委員：確認する。

会長：回収率向上に向けて、調査依頼文にWEB回答を促す文章を強調するのもよいと思われる。また、「WEB回答の場合、この調査票は不要です。」といった文面を追加してもよいと考える。

事務局：修正する。

（2）関係者ヒアリングについて【協議事項】

○資料7に基づき、事務局から説明。

以下、質疑応答等

副会長：進め方については問題ないと思っている。いつごろまでにヒアリングを実施し、協議会での結果報告はいつ頃になるのか。また、地域公共交通計画への反映方法など、ヒアリング結果の活用方法について教えていただきたい。

事務局：12月の初旬頃にアンケートとヒアリングの調査結果の報告と課題と対応の方向性等を示す予定である。また、路線バス事業者とタクシー事業者に対するヒアリングは昨日までで1回目のヒアリングを全て実施済みである。

（3）市内公共交通の利用状況について【報告事項】

○資料8に基づき、事務局から説明。

以下、質疑応答等

委員：シェアサイクルはMaaSの観点でも重要な取り組みだと感じているが、道路交

通環境の整備が課題だと感じている。また、自転車利用者の走行マナーにも課題があると感じている。バスの安全運行にも関係する話であり、市に対しては自転車走行帯の整備や利用者の交通マナーの啓発を進めていただきたい。

事務局：建設部と連携して対応していきたい。

委員：デマンドタクシーの利用状況について、自宅からの利用が多いのか。みずほ台駅の駅前にはデマンドタクシーの停留所があるものの、実際にはあまり利用されていないのではないのか。

事務局：デマンドタクシーは、自宅からの利用が一番多いということは認識している。利用目的は、買い物や通院が多いものと考えられるが、駅周辺での利用が少ない理由については、アンケート調査を通じて利用目的別の移動実態を分析することで把握するつもりである。また、利用促進の観点でも、どのような要因で利用されていないのかをアンケート調査を通じて把握したいと考えている。

委員：利用が少ないことに対し、利用促進に向けた周知活動に力を入れてもいいと考える。

副会長：市内循環バスの利用状況について、みずほ台駅・水谷東線は朝の時間帯での利用が多く、1日あたりの出発時刻別の乗車人数からすると、混雑が予想され、場合によっては利用客が乗り切れていない可能性もある。地域公共交通計画の作成に向けて、このような利用の多い路線のダイヤ改善についても、適切に検討してほしい。一方で、利用が少ない路線についても、改善策を講じることが必要であり、新たな交通サービスも含めて対策を検討していただきたい。また、デマンドタクシーについて、決算の推移を踏まえると利用が停滞しているものと思われる。その理由についても、アンケート調査を通じて把握していただきたい。デマンドタクシーは利用すればするほど市の負担額が増えていくサービスである上、事業者側もタクシーの配車台数には限界があることから、実情に合った規模でサービスを提供できればと思う。利用者側の満足度についてもアンケート調査を通じて適切に把握することがよい。シェアサイクルについて、東武バスウエストから意見があったように、道路環境の整備や交通マナーの啓発については建設部と連携しながら進めていただきたい。

4 その他

○会社合併について東武バスウエスト株式会社より説明。

・特に質疑なし

○運賃改定について西武バス株式会社より説明。

- ・特に質疑なし

事務局：次回の協議会は12月の初旬を予定しているが、アンケート調査の集計・分析の進捗によっては時期が前後する可能性があることご了承いただきたい。

5 閉会 平澤都市整備部長事務代理